

## 第5回埼玉県糖尿病協会主催・市民公開講座

テーマ：災害時の患者へのメッセージ

災害発生への心配は高まってきています。これは地震や水害が各地で毎年発生していることによりますが、いつ埼玉県で発生しないとも限りません。しかし、発災時に糖尿病患者自身がどのような対策と準備が必要かについて、患者さん目線での具体的対応策の提示は不足していたように思えます。今回は災害時にどのように身を守るべきか、どのように自宅あるいは避難所で過ごすべきか、体調・栄養・ストレス・薬剤・血糖管理対策等について専門家の立場から講演していただきます。患者さんあるいは患者さん家族参加型の討論・講演会を目指して開催する予定です。一般市民の方も歓迎いたします。

日時：令和元年11月30日（土）14時から

場所：大宮ソニックシティビル 4階、市民ホール

募集人数：100名（先着順）

主催：埼玉県糖尿病協会

開会の挨拶：加計正文 埼玉県糖尿病協会常任理事、さいたま市民医療センター院長

### 1. 基調講演（25分）

司会：鈴木裕也先生 埼玉県糖尿病協会名誉顧問

演者：原 一雄先生 自治医科医学さいたま医療センター、内分泌糖尿病科教授  
「災害と糖尿病」

### 2. 教育講演（90分）避難所での糖尿病管理（講演時間各自15分以内）

司会：犬飼敏彦先生 埼玉県糖尿病協会会長、西部総合病院院長

（1）江原由美子先生 さいたま市民医療センター看護師、日本DMAT隊員  
「避難所生活の実情から見えること」

（2）金子貴美江先生 小川赤十字病院看護師

「災害対策、日常からの準備と避難所におけるシックデー対策」

（3）山田智教先生 獨協医科大学埼玉医療センター、リハビリテーション科  
「避難所での体調管理、深部静脈血栓対策」

（4）市場仁子先生 埼玉医科大学総合医療センター、薬剤部  
「避難所での薬剤供給不足と血糖管理」

（5）西川えみ先生 さいたま市民医療センター、栄養科  
「避難所における栄養バランスから考える血糖管理」

（6）総合討論（15分）

閉会の挨拶： 河津由夫埼玉県糖尿病協会副会長